

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成26年8月21日（木）午後7時30分～9時
会場	八鍬公民館
地域座談会の内容（質疑応答の内容等）	
<p><b>① 慈恩寺橋の歩道橋脚工事の目途はいかがか。慈恩寺国史跡指定の時期でもあり通行禁止となっており好ましくない。</b></p> <p>→ 昨年大雨で橋脚が傾き県で整備することとなっており、入札が不調に終わったが再入札の結果、落札業者も決定し整備に入る予定である。改修経費が増加したが整備が進むことを期待したい。</p>	
<p><b>② ふるさと納税の市内の現状はいかがか。</b></p> <p>→ 天童市は1億を超える寄付が集まった記事が掲載されていたが、本市でも、さくらんぼ紅秀峰のお返しを実施したが、年間通して返礼商品の開発が必要である。市の収入が増えるのであれば半分くらいお返しをしても気持ちもあり農産物を含めてPRにもなる。損して得とれもあり来年に向けて戦略的に作戦を練って他市事例も研究して盛り返していきたい。</p>	
<p><b>③ 陵西中で、生徒数の減少により女子バスケのチーム編成ができない事態となっている。少子化の中、小中学校はこのまま存続できるのか。</b></p> <p>→ 少子化の影響は出てきている。地域の皆さんの気持ちが大事であり、子どもたちの教育環境を最適な状況の中で学ばせたいのが基本根底にある。地元の皆様の声をもっと聞き理解を得た上で進めていくことが必要である。田代小学校が閉校したが皆様の理解を得て話し合ってきた経過があり、幸生は地域の皆さんの声を聞くとまだその状況ではない。今すぐどうにかするとの時期ではないと思います。</p>	
<p><b>④ 今日の新聞にさくらんぼ観光客の入込数が出ていたが、寒河江市は減った記事が掲載されていたが、感想はいかがか。</b></p> <p>→ 去年と比較した数字であり、去年は天童・東根が品質良くなかったため、寒河江市に観光客が訪れ去年が伸び寒河江の一人勝ちだったが、今年は県内全体が良かったため去年不作だった東根、天童が伸びており、総体的に寒河江が落ち込んだ結果となったが、震災前の水準に戻したいと思っている。北関東方面の団体客が減少している。要因は、高速バス事故後の添乗員2人</p>	

体制強化指導のため料金設定が高くなり、安価な山梨方面へツアー客が流れた。仙台の個人客は増えたが日帰り客が増加しているためか購入単価が低い傾向にある。

**⑤ 財政状況は健全化している数字であるが、見込み額が出てくる背景はいかに。健全化重視策を採ってきた背景なのか。**

→ 実質公債費比率は18%以下が望ましい。財政の健全化に努力したため公共事業を抑え借金事業を少なくした。県内でも中クラスの健全化になったのではないかと。

**⑥ 朝日山系、月山山系に大量の雨が降った場合に寒河江ダムは決壊しないのか。**

→ 他の座談会でも同じ質問がでた。一昨年に市長名の公文書でダム管理事務所に照会文書を提出したが、回答はダムの決壊は考えられないので洪水は想定していない、との回答であった。東日本大震災でも太平洋側のロックフィルダムは被害が無かったため、決壊は想定していないとのこと。想定を超える大雨の場合やテロにより爆破された場合や、あふれた場合下流の地域の被害状況の可能性を把握したいのであるが、今後も機会を捉え、想定を超える雨量が発生しているため影響の可能性を国に照会していきたい。

**⑦ 子育て世帯臨時特例給付金と臨時福祉給付金は今年だけの措置なのか。**

→ 消費税8%引き上げに伴う、子育て世帯軽減のための給付金と、所得の少ない世帯の臨時交付金である。10%の時に再度給付するかについて、国からの情報はありません。

**⑧ がけ崩れ指定地域説明会が4月にあったが、高松地区は慈恩寺橋西側また、対岸の白岩から箕輪まで全域が指定となる説明であるので、早急に指定していただきたい。**

→ 土砂崩れ危険区域の指定については中身を見て判断いたします。

**⑨ ロータリーの花壇に除草剤を散布され刈れてしまった。コンパネで防御するなど対策をしてほしい。**

→ 十分注意するよう申し伝えます。

**⑩ 多面的機能農地維持管理制度について、八鍬地区は農家ばかりでなく地元住民も協力し草刈り堰払いを実施している。是非とも交付金を継続していただきたい。**

→ 地域の活性化にも役立っている事業であり市内各地区で実施しており継続できるように県にもお願いをしていく。今回の補正予算に高松地区を計上しております。

**⑪ 山間部に大量の雨が降ると平野山下流の水が上がる。山間部の排水路を集中豪雨に対応できるような対策を願いたい。**

→ 山間部の雨量が多い排水対策や砂防対策はこれまで以上に大切であり、県にお願いするなどして取り組んでいく。1, 2 級以外の普通河川は市が管理することとなるが細かい川は土砂災害時に土石流の道にもなるので事前の対策を進めていきたい。

**⑫ 八鍬 3 号線の整備要望を昨年 5 月に提出したがどの様になっているのか。今年度も改めて再度提出の必要があるのか。**

→ 地元の強い要望は十分把握している。市道改良リストに掲載し審査の対象に上がっている。10 月ごろ路線選定審査会を経て優先順位を決定し緊急性の高いところから予算化していく。地元の熱意を担当も十分理解しているのでできるだけ期待に添うようにしていきたい。ただ、市内全域公平に審査に付さなければならないのでご理解をいただきたい。

**⑬ 農地を借りて農業に転職する新規就農者の若い人が少ない。実情はどうか。**

→ 市内では 13 人の若者が新規就農している。県内では 200 人、高齢で止める人も多い、Uターン、I ターン含め最大 7 年間で 150 万円ずつの支援があるが魅力ある農業の取り組みが必要であり研究していく必要がある。中間管理機構や貸し手借り手、農地の集約化も含め新たな支援制度の取り組みが必要であると考えている。農業委員会の皆様とも十分意見交換をしていく。

**⑭ 5 年前の座談会でも聞いたが、市長は、人口減少もあり西村山の合併は避けて通れないと思う。と答えていたが今でも、必要ではないのか。**

→ 民間企業であれば元気なうちに経営基盤強固を図るための合併は有りうるが、自治体は 1 人立ちできない危機的状況になった時である。住民の機が熟さないと合併の問題は前に進まないし必ず住民投票となる。危機感を煽り立てることはできないし先を読んで情報を収集することだが大事であり、まだ、合併の機が熟した時期ではないと考えている。1 市 3 町となれば、たとえ対等合併であっても吸収されるのではないかとの危惧があるのではないかと。

**⑮ 県議会議員選挙も今度から、西郡からの選挙区になるのか。**

→ わかりません。

**⑯ 婚活コーディネーターの活動状況はいかに。**

→ 市内の結婚推進員は25, 26人ほどなのか。登録していただき仲人役を務めていただいております。成立に至った場合、報償金制度も設けている。100組紹介して1組生まれればいいとのコーディネーターのご意見も頂く。2年前に制度を作ったが昨年度は3組が成立した。また、ボランティア団体が主催するグループイベントを通して出会いの場を提供している。行政のお膳立てを好まない若者嗜好もあり、民間活動を支援していくので民間の努力に期待したい。婚活コーディネーターもこのままの状況でいいのか、今後工夫が必要なのかとも思っている。